



指導主事だより

なんだかうれしい

教育委員会

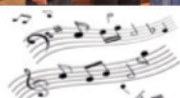
相談時間等 月・水・金曜日

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 0267-56-3131 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 0267-56-1076 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時50分～午後1時40分
電話 0267-56-0248 (呼)

(担当 指導主事 中島 一彦)



川は風と語り合っているよ
鳥は花と触れ合っているよ
日差しは木の葉と じゃれあっているよ
雨は蛙と頷き合っているよ



魚は波と競い合っているよ
山は雲と呼び合っているよ
窓はピアノと微笑み合っているよ
雪は灯りと見つめ合っているよ

ほらね
僕らは一人じゃない
きっとね
誰も一人じゃない

それでも悲しい日があったら
涙が止まらない日があったら
ゆっくりそっと歌を歌おう
思い出詰まったあの歌を
うたはあなたの大切なともだち
いつもそばにいる大切なともだちだから

ほらね
僕らは一人じゃない
きっとね
誰も一人じゃない

それでも寂しい夜があったら
どうしても眠れない夜があったら
ゆっくりそっと歌を歌おう
微笑み詰まったあの歌を
うたはあなたの大切なともだち
いつもそばにいる大切なともだちだから



本中に歌声を「歌おうNIPPON」プロジェクト～東日本大震災応援ソング～



「ほらね」
作詞 伊藤恵司
作曲 松下 耕



6年生の子どもたちが役場庁舎に向き、取り組み続けてきた合唱曲を披露してくれました。東日本大震災の被災者応援ソングとして作られた合唱曲「ほらね」。

その歌声に耳を傾けてくださる皆さんの表情に深く心を動かされるのです。

温かさや優しさが漂い、揺れ動く心が伝わるように涙をぬぐう皆さんの姿にも触手をのばしたくなりました。被災からすでに15年近くの月日が流れました。かけがえのないものを失った被災地。数時間前、数分前まで一緒に居た家族や友人・・・同じ時間を過ごした思い出のものたち。そして何よりその明日を信じて思い描き続けた希望や夢の数々。そういうものの喪失。決して一過性の出来事にするのではなく、すべての思いに心向け続けた子どもたちの歌声。そして子どもたちの心のこもった歌声に耳を傾けてくださる聴衆の皆さんの心根。失ったものと同じように大切なもの・・・それはこれまで当たり前の生活の中で、忘れかけ、失いかけていたことに気づかせてくれた6年生の歌声。

私たちは自分の意志で生きているのだけれど、それだけではなく、目に見えない大きな力によって生かされてきたのだということも、あらためて思われるのです。

思いを歌声に乗せて届けてくれた6年生、担任の先生方、うれしいひとときをありがとう。